

久米南中だより

令和5年11月6日(月)



予告なし避難訓練

10月20日(金)は中間テストが終わってほっとしているときに予告なしの避難訓練を行いました。いつもは事前に予告をして行っていましたが、今回、初めての予告なしの避難訓練でした。ちょうどお昼休みの時間帯に地震が起こったという想定で訓練を行いました。

教室以外のところにいた生徒は、その場でしゃがみ頭を保護する行動はなかなかとれなかったようでした。緊急地震アラートを流したら一斉に教室に入る生徒がほとんどでした。1階にいた生徒も2階の自分の教室に行っている生徒もいました。先生方は自分で判断し誘導しながら避難をするといった実践に近い訓練でした。集合の合図が出て集まるまでの時間は3分2秒でした。体育館に集合するときの様子や集合時間はよかったと思いますが、緊急アラートを聞いているときに笑い声が出ていたことは残念でした。いざというときにどのような行動をとればよいか、中学生はもう家族や地域のリーダーとして動くことができるはずで、自分自身をしっかり振り返って課題があった人は必ず次回に克服できるようにしていきたいと思います。

- ★今回の避難訓練(地震)の自己採点は何点を付けますか?
- ★放送がかかったとき立ち止まり聞くことができましたか?
- ★教室なら机の下、廊下なら給食台の下など、頑丈なもので頭や体を守ることができましたか?
- ★「おはしも」は実践できましたか?

後期生徒総会

10月27日(金)、後期生徒総会がありました。どの学年も素晴らしい姿勢で真剣に会に臨むことができました。聞けば、クラスでの議案検討も様々な視点からの意見や質問がでて、中身の詰まった議案検討になったと担任の先生から説明がありました。一つの提案にみんなで議論できる雰囲気もとても良いと思います。自分の意見や考えを伝えることができることも素晴らしいと思います。そして議論して決定した事項については、きちんと取り組んでいくことも大切です。



また、2年生の初めての仕切りも準備をきちんとしてこの会を迎えた様子が伝わってきました。決定した事項、継続審議の事項、それぞれよく確認して取り組んでいきましょう。さらなる成長を楽しみにしています。

3年生、久米南学発表会

10月31日(火)、3年生は体育館で久米南学の発表会に挑戦しました。どのグループも3年間かけて取り組んだ課題探求学習の成果発表を堂々で行いました。今年は下級生も3年生の発表の様子を参観することができました。自分たちの次年度の発表に生かしてくれると思います。また、3年生の保護者の方、協力いただいた事業所の方、行政の方など、たくさんの方に参観いただきました。ありがとうございました。

中学生ならではのアイデアと発想、若い人をターゲットにしたプロジェクトや農業に興味がある人をターゲットにしたプロジェクトなどから商品開発や久米南町らしいネーミングの考案など多岐にわたる見ごたえのある発表でした。



堂々と発表してます！
プレゼンは基本、暗唱！



商品開発しました！
「グミ：柚子味」



教育長に感想を
求めました！



3年間、久米南学に取り組んできましたが、学年が上がるごとに表現する力をつけてきた3年生。この力を今後の学校生活の中で活用してほしいと思います。

1年生、支援学校との交流会

11月2日(木)、1年生は誕生寺支援学校を訪問して自己紹介を行い一緒に作業を行ったり作品を作ったりして交流をしました。この日のために1年生は誕生寺支援学校の先生からお話を伺ったり福祉体験をしたりして準備してきました。

誕生寺支援学校につくと開会式を行い、それぞれの体験ブースに移動して一緒に作業を行いました。緊張しながらもさをり織や花植え等、一緒に作業を行いました。貴重な体験学習になりました。

PTA活動の紹介

<町PTA情報交換会・研修会>

久米南町内の保育園、小中学校のPTA活動の情報交換会・研修会を行いました。津山教育事務所から春名指導主事をお招きして「これからのPTA活動」というテーマで講演もいただきました。小学校統合に向けての好事例等、紹介いただきました。

<PTA正副会長会>

・10月12日(木)、正副会長会がありました。PTA活動の報告に加えて、小中一貫校・施設部会の報告や情報共有、地区別懇談会、今後のPTA役員数などについて意見をいただきました。

<各学年PTA>

・2年生は10月20日(金)、午後7時から中学校の体育館で親子レクリエーションを行いました。各クラスで生徒チーム、保護者チームを作ってソフトバレーを行いました。楽しそうな声が体育館に響いていました。役員の皆様、参加をいただいた保護者の皆様、大変お世話になりました。

・1年生も10月27日(金)、午後7時から中学校の体育館で親子レクリエーションを行いました。ソフトバレーボール大会でした。1年生もたくさんの保護者、生徒で交流しました。1、2年生ともに1位は生徒チームでした。1年生は部活動が終わっても7時まで教室でまったり体育館で準備運動をしたりしていました。楽しみにしていたことが伝わってきました。お忙しいときに計画・準備していただき本当にありがとうございました。

・3年生は進路学習会を行います。11月17日(金)、午後7時から中学校の美術室で今年の入試についての説明を行う予定です。今年から公立高校の出願が私立高校と同じようにWeb出願となります。県北私立高校はWeb出願になって3年目を迎えます。Web出願とは出願作業を自分でインターネットで行います。また、受験料を事前にお支払いいただくことになります。出願できたら受験票も自分で印刷できます。何かわからないことがありましたら遠慮なく中学校に連絡をお願いします。

部活動の地域連携、地域移行について

文部科学省からの部活動地域移行の答申を受けて岡山県でも様々な市町村で試行や検討会議が行われています。久米南町でも今年度から検討会議が始まりました。次年度から地域連携・地域移行というわけではなく、これから2～3年程度をかけてどのような形で地域連携をしていくか検討されます。右の資料は配付された説明資料の一部です。質問など何かありましたら教育委員会、中学校にお問い合わせください。



学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する 総合的なガイドライン【概要】

○少子化が進む中、将来にわたり生徒がスポーツ・文化芸術活動に継続して親しむことができる機会を確保するため、速やかに部活動改革に取り組む必要。その際、生徒の自主的で多様な学びの場であった部活動の教育的意義を継承・発展させ、新しい価値が創出されるようにすることが重要。

○令和4年夏に取りまとめられた部活動の地域移行に関する検討会議の提言を踏まえ、平成30年に策定した「運動部活動の在り方に関する総合的なガイドライン」及び「文化部活動の在り方に関する総合的なガイドライン」を統合した上で全面的に改定。これにより、学校部活動の適正な運営や効率的・効果的な活動の在り方とともに、新たな地域クラブ活動を整備するために必要な対応について、国の考え方を提示。

○部活動の地域移行に当たっては、「地域の子供たちは、学校を含めた地域で育てる。」という意識の下、生徒の望ましい成長を保障できるよう、地域の持続可能で多様な環境を一体的に整備。地域の実情に応じて生徒のスポーツ・文化芸術活動の最適化を図り、体験格差を解消することが重要。

※Ⅰは中学生を主な対象とし、高校生も原則適用。Ⅱ～Ⅳは公立中学校の生徒を主な対象とし、高校や私学は実情に応じて取り組むことが望ましい。



I 学校部活動

教育課程外の活動である学校部活動について、実施する場合の適正な運営等の在り方を、従来のガイドラインの内容を踏まえつつ示す。

(主な内容)

- ・教師の部活動への関与について、法令等に基づき業務改善や勤務管理
- ・部活動指導員や外部指導者を確保
- ・心身の健康管理・事故防止の徹底、体罰・ハラスメントの根絶の徹底
- ・週当たり2日以上以上の休養日の設定(平日1日、週末1日)
- ・部活動に強制的に加入させないようにする
- ・地方公共団体等は、スポーツ・文化芸術団体との連携や保護者等の協力の下、学校と地域が協働・融合した形で環境整備を進める

II 新たな地域クラブ活動

学校部活動の維持が困難となる前に、学校と地域との連携・協働により生徒の活動の場として整備すべき新たな地域クラブ活動の在り方を示す。

(主な内容)

- ・地域クラブ活動の運営団体・実施主体の整備充実
- ・地域スポーツ・文化振興担当部署や学校担当部署、関係団体、学校等の関係者を集めた協議会などの体制の整備
- ・指導者資格等による質の高い指導者の確保と、都道府県等による人材バンクの整備、意欲ある教師等の円滑な兼職業
- ・競技志向の活動だけでなく、複数の運動種目・文化芸術分野など、生徒の志向等に適したプログラムの確保
- ・休日のみ活動をする場合も、原則として1日の休養日を設定
- ・公共施設を地域クラブ活動で使用する際の負担軽減・円滑な利用促進
- ・困難家庭への支援

III 学校部活動の地域連携や 地域クラブ活動への移行に向けた環境整備

新たなスポーツ・文化芸術環境の整備に当たり、多くの関係者が連携・協働して段階的・計画的に取り組むため、その進め方等について示す。

(主な内容)

- ・まずは休日における地域の環境の整備を着実に推進
- ・平日の環境整備はできるところから取り組み、休日の取組の進捗状況等を検証し、更なる改革を推進
- ・①市区町村が運営団体となる体制や、②地域の多様な運営団体が取り組む体制など、段階的な体制の整備を進める
- ※地域クラブ活動が困難な場合、合同部活動の導入や、部活動指導員等により機会を確保
- ・令和5年度から令和7年度までの3年間を改革推進期間として地域連携・地域移行に取り組むこと、地域の実情に応じて可能な限り早期の実現を目指す
- ・都道府県及び市区町村は、方針・取組内容・スケジュール等を周知

IV 大会等の在り方の見直し

学校部活動の参加者だけでなく、地域クラブ活動の参加者のニーズ等に応じた大会等の運営の在り方を示す。

(主な内容)

- ・大会参加資格を、地域クラブ活動の会員等も参加できるよう見直し
- ※日本中体連は令和5年度から大会への参加を承認、その着実な実施できるだけ教師が引率しない体制の整備、運営に係る適正な人員確保
- ・全国大会の在り方の見直し(開催回数の精選、複数の活動を経験したい生徒等のニーズに対応した機会を設ける等)